

特定非営利活動法人 雑司が谷ひろばくらぶ 設立趣旨書

(背景・現状)

豊島区雑司が谷・南池袋地区は、数多くの歴史建造物等や歴史ある地域住民のコミュニティと、それらを守り育てる住民の活動が行われている地域です。昭和60年から住民参加のまちづくりに取り組んできた地域でもあります。平成27年には、その歴史遺産と、それを守ろうとする地域の人々の活動が認められ、日本ユネスコ協会連盟の未来遺産にも認定されました。

(問題)

一方、この地域は、木造住宅密集地域であり、防災やまちづくりの課題を数多く抱えた地域です。高齢者が増えており、また、豊島区は子育て世代が区外に流出することによって23区で唯一消滅可能性都市という評価を受けており、子育て世代が安心して暮らすことができる環境づくりも必要とされています。それらに対応するために、安全・安心な地域づくりが必要とされている地域です。

(あるべき姿)

豊島区では地域の中央に位置する高田小学校跡地に、地域住民の要望を受けて公園と拠点施設を整備します。高田小学校跡地の公園と拠点施設を、子どもから高齢者まで多くの人々に親しまれ、地域のまちづくりや防災の拠点とすることが望まれます。

(活動実績)

私たちはこれまで、住民参加のまちづくりに積極的に取り組んできました。その成果のひとつとして、高田小学校跡地に公園と拠点施設を提案し、実現してきました。提案後は、それをまちづくりや防災に生かすためにはどうしたらよいか検討してきました。また、地域の他の公園の維持管理やまちづくり活動にもボランティアで取り組んでいきました。

(法人格取得の目的)

しかしながら任意団体であるため、区の委託を受けて公園や施設の運営管理を行うことや寄付を募って活動の幅を広げることが困難です。法人格を取得することによって、より活動を充実させることが期待できます。

それによって、高田小学校跡地の公園と拠点施設を地域のコミュニティや防災の拠点として活用し、そこに集う人が中心となって、地域のまちづくりをさらに活発化させることを目的とします。

申請にいたるまでの経緯

- 平成25年4月 高田小学校跡地公園検討会設立
- 平成26年3月 豊島区長に「旧高田小学校跡地公園計画についての提言書」提出
- 平成29年2月 特定非営利活動法人設立を確認
- 平成29年4月 特定非営利活動法人設立に向けて準備会開催
- 平成29年4月～ 学校敷地内の野草救出作戦（解体工事によって失われる野草の保護活動）や地域の公園の清掃活動などを開始
- 平成29年11月 特定非営利活動法人雑司が谷ひろばくらぶ設立総会開催

平成29年11月20日

設立代表者 住所 東京都豊島区雑司が谷2丁目22番4号
氏名 清 田 明 ㊞